



# 大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

12月号

平成25年 11月 29日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

## それぞれの役割

校長 小島 英樹

「今日で終わりか！ 寂しいなあ。」

学芸会2日目の保護者鑑賞日の朝、職員室で教員がふと漏らした一言です。

しかし、実は学芸会は、教員にとっては正直、物理的にも、時間的にも、そして精神的にも大変負担の大きな学校行事です。脚本の選定や編集、台詞や演技の指導、ダンスや劇中歌の指導、道具類や衣装の作製、照明やBGMや効果音の準備など、教員は連日遅くまでかかりきりになります。

保護者の皆様が目にするのは、そうした教員の苦労と努力と試行錯誤の末に高められた子供たちの晴れの舞台なのです。子供たちが大きな声で自分の台詞を言い、役を演じ、学年全体で歌声を響かせてくれた時、教員はそれまでのさまざまな苦労をすべて忘れて、冒頭の言葉さえ発するのです。

出演を終えて教室に戻った子供たちは、自分の役を精一杯に演じることのできた自信と喜びに目を輝かせ、友達の台詞も口ずさみながら、劇中歌をクラスみんなで歌っていたと聞きます。

きっと子供たちは、テレビやゲームやメールでは決して味わうことのできない、学校でだからこそ得られる貴重な学びを全身で学んだのだと思います。

私達教員は、これからも子供たちに生きた学びの機会を提供し、子供たち一人一人のよさや可能性を全力で引き出していきます。でも、その土台となるのは、ご家庭での健全な育ちと基本的なしつけにあります。

学芸会でそれぞれの役割を見事に演じきった子供たちに負けないように、私達大人も学校と家庭それぞれの役割をしっかりと果たしていきましょう。

「マラソン大会にむけて」 体育的行事委員会 谷内あい

12月19、20日はマラソン大会です。本格的な練習が始まるのは12月からですが、朝校庭を見ると、トラックを走って練習している姿が見られ始めました。何にでも言えることですが、「走る」という運動は、何の目的もなくやらされていると退屈に感じてしまいがちです。しかし、何かめあてをもって走ったとき、そうは感じないはず。友達と競ってもいいし、自分自身の記録に挑戦してもいいし、これのために頑張ろうと思えるめあてを立ててから、マラソン練習に取り組めるのがいいですね。そして、ゴールした後のすがすがしい気持ちを存分に味わってほしいと思います。

# 学芸会を終えて

## 1年生「はじめての学芸会『ねこがねずみをおいかけるわけ』」



1年生にとって初めての学芸会でした。2日間の学芸会を終え、「緊張したけど楽しかったよ。」「家の人が観に来てくれたよ。」「他の学年の劇もおもしろかったよ。」という声が笑顔と共にあがりました。かわいらしい動物のお面や衣装をつけ、元気いっぱいに演じました。最後にみんなで歌った「エトはメリーゴーランド」での表情も忘れられません。毎日毎日練習を重ね、本番をむかえました。みんなで創り上げていく喜びを、これからの学習や行事につなげていきたいです。たくさんの拍手とたくさんの応援を本当にありがとうございました。

## 2年生「みんなの心が一つになった『11ぴきのねこ』」



台本を読んだその時から、みんなすぐに『11ぴきのねこ』のお話が大好きになり、劇中の歌を口ずさんだり、普段の会話の中にも劇中のせりふが飛び出したりと、すっかりお話の中の世界に入り込んでしまった様子の2年生たち。A～Fののらねこたちと年よりねこ、人間という8つのどのグループも、とてもチームワークがよく、お互いに助け合いながら練習に励みました。当日は初めての学芸会とは思えないほど、一人一人が

堂々と、楽しく演技をすることができました。この学芸会を通して、力を合わせて大きな魚をつかまえた11ぴきのねこたちのように、みんなで協力することの大切さを知り、ひとまわり成長することができました。たくさんの応援ありがとうございました。

## 3年生「元気いっぱい『忍者になりたかったカメレオン』」



「どう動いたら、自分が演じる役の気持ちをお客さんに伝えることができるのだろう？」場面ごとに集まった子供たちは、色々なアイデアを出し合いながら自分たちの動きを考えました。また、劇中に全部で6曲の歌が出てきましたが、子供たちは歌の練習を重ねるうちに、全部の曲が大好きになりました。そして、学芸会当日は、みんなで元気いっぱいに演じ歌うことができました。これ

からも、自分たちの目標に向けて一生懸命に努力し、その達成感を味わうすばらしさを他の場面でも感じて欲しいと思います。保護者の皆様のご理解・ご協力、そして当日のあたたかい拍手、本当にありがとうございました。

## 4年 「すてきな仲間と力を合わせて演じた『そんごくう』」



4年生は「すてきな仲間と力を合わせて」をテーマに練習に取り組んできました。「サルルル ブタタタ カップパ・・・・」と練習が終わってから口ずさむほど、「そんごくう」に夢中になった4年生。孫悟空、三蔵法師、猪八戒、沙悟浄、牛魔王、羅刹女、金閣、銀閣、コーラス隊、おしゃか様、ようま、手下、分身、大蛇、火の精、どの役の子供たちもどうしたらお客さんに楽しんでもら

えるか、話の内容が伝わるかを考え、アイデアを出し合いながら練習を重ねどんどん上達しました。当日はお客さんに笑ってもらえたり、おどろいてもらえたりしたことで、いつも以上に目を輝かせ、自信をもって演技することができました。元気いっぱいの4年生らしさが見ている方に伝わっていれば嬉しいです。応援ありがとうございました。

## 5年生 「夢から醒めた夢」



5年生98名が結集してお送りした『夢から醒めた夢』。まずは子供たち自身が楽しんで演技できるように！そして、観客の方々にも楽しんでもらえたらと思いつつ、取り組んできました。いかがだったでしょうか。

今回のミュージカル仕立ての劇は、歌もダンスもたくさんあり、しかも設定や内容が難しく、最後の最後まで仕上げる事ができるかという不安がありました。それだけに当日、みんなが心をつなげて演じることができたことに、担任一同熱い思いがこみ上げてきました。仲間と共に創り上げた思い出と自信をもった子供たちのさらなる成長を期待し、これからも見守ってまいります。

## 6年生 「一人一人が輝いた『エルリックコスモスの239時間』」

最高学年として迎える大北小の学芸会。「見てくださる方々に感動を与えたい。」特別な思いを胸に6年生は練習に励んできました。主要な役も脇を固める役も、どの役も劇を進める上で欠かせない役です。一人一人が役に責任をもち、子供たちの台詞や動作からは、工夫やアイデア、演じきろうとする意欲があふれていました。友達と演技について話し合ったり認め合ったりしながら、お互いを高めていく様子も見られ、練習を重ねる度に、演技力が向上するだけでなく、心も一つになっていき、学芸会の当日は皆が堂々と自信をもって演技ができました。一人一人の思いが結ばれ、学年全体の力になった瞬間でした。学芸会を通して、「皆が力を合わせて一つの劇を創り上げる喜びや達成感」を味わい、また一つ成長した6年生。卒業に向けて、これからの学校生活にも生かしてほしいです。衣装の準備、子どもたちへの励ましの言葉等、保護者の方々にもたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。



# 12月行事予定表

◎今月の生活目標：身のまわりの整理整頓をしよう 遊び道具をきちんと片付けよう  
そうじの後始末をきちんとしよう 教室や机の中を整理しよう

日	月	火	水	木	金	土
1	2 全校朝会 委員会活動	3 個人面談③	4 演劇鑑賞教室	5 ユニセフ集会 個人面談④	6 個人面談⑤	7 文化集会
8 青少年委 員会球技 大会	9 全校朝会 クラブ活動	10 安全指導 個人面談⑥	11 児童集会 個人面談⑦	12 4時間授業 (5年研究授業のため)	13 4時間授業 (大泉第一小学校 研究発表会のため)	14 土曜授業公開 木曜時間割 二分の一 成人式(4年)
15	16 全校朝会 避難訓練(火災) 防災授業(6年) クラブ活動	17	18 けやき班あそび	19 マラソン大会 (1・3・5年)	20 マラソン大会 (2・4・6年) 練馬大根沢庵漬け (3年)	21
22	23 天皇誕生日	24	25 全校朝会 4時間授業 給食終 大掃除	26 冬季休業日始	27	28
29	30	31				

学校評価のお礼

学校評価にご協力ありがとうございました。大北小の教育活動がどう進んでいるのかを確かめるための大切な資料になります。集計結果につきましては、後日、学校便り特別号でお知らせいたします。

MOTTAINAI

日本人が世界に向けて自信をもって伝えられる言葉です。しかし、実際はどうでしょうか。教室では、たくさんの落とし物が見つかります。記名がしてあれば、返すことができます。しかし・・・。安い価格で買えるビニール傘や商品も物を大切にしない状況を生み出しているような気がしています。どうぞ、持ち物すべてに記名をして、物を大切にすることを一緒に育てていきましょう。

防犯ブザー

たかが防犯ブザー、されど防犯ブザーです。何かあってからでは後悔しきれません。すぐに確認をお願いします。

<b>副校長通信</b>	注意をうけること	副校長 城崎 真
<p>今、他人の子供に注意をしていただける方はどんどん減って来ています。</p> <p>誰しも自分がしていることを否定される（注意を受ける）といい気分はしないことでしょう。そんな時、自分の行動を振り返り、考え、行動を改めることができるのか、それとも、無視したり、暴言を吐いたりして注意してくれた人にいやな気分を与えてしまうのか、大きな違いがあります。</p> <p>相手の気持ちを考えられる人であれば、どんな気持ちで注意をしてくれたのかを考えることができます。小学生には難しいことかもしれませんが、注意を受けたら素直に聞ける子供に育てていきたいと思えます。ご家庭でも、ご指導お願いいたします。</p>		